

## 統計の応用の練習問題解答について

解答を公表するに当たっていくつかのコメントをしておきます。

- (1) よくある質問ですが、区間推定の答えは、区間を不等号で書いて指定してもいいし、プラスマイナスを使って区間がわかるように指定してもどちらでもいいのです。これは授業中何度もいっていますが、それでも不安があるようです。答えは不等号で示してありますが、プラスマイナスで指定してもかまいません。「別解として書いてほしい」という人がありますが、これは別解ではなく、単に表現の仕方の違いなので、わざわざ書きませんが、どちらでも正解です。
- (2) みんなが一番気にしているのは、「桁をどこまでとればいいのか」です。統計は、そもそも、それほど、厳密に明快な答えが言えるわけではありません。そして、仮定している「正規分布」がどこまで、厳密に成り立っているかもわかりません。標本が増えれば「中心極限定理」があるので、正規分布に近づきますが、最初の分布によって早く近づく場合もあれば相でない場合もあります。ですから、上位 3 桁あれば十分です。2 桁でもかまいません。むしろ、きちんと答えまでたどり着いているかどうかのほうが重要です。
- (3) 解答と答えの違う場合は、「考え方も違っているのか。計算だけが違っているのか」きちんと見分けてください。来る 1 月 10 日に補講を行いますので、疑問のある人は、出席してください。

補講の掲示を必ず見るように・・・